

報告日 令和6年8月16日

報告回次 1日目

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	日進市			代表者名	日進市長 近藤 裕貴
担当者部署(属性)	人事担当	担当者部署名	総合政策部人事課	連絡先電話番号	0561-73-3128
担当者役職	係長	担当者氏名	味噌 正樹	連絡先E-mail	
住所	470-0192 愛知県日進市蟹甲町池下268番地				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署		連絡先電話番号	
担当者氏名				連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（単独）	事業名	研修事務		
概要	職員数を安易に増加できない中で、多様化する住民のニーズにこたえていき、行政サービスをより良いものにしていくため、職員ひとりひとりのパフォーマンスの向上をめざし、マンパワーに頼らずDXを活かした企画立案ができる職員への啓発をするもの。				
支援を求める分野	EBPM 生成AI活用 人材（DX推進のための機運の醸成） 人材（DXに関する知識習得・研修・育成）働き方スマートシティ				

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1.	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
対応日・時間	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和6年8月9日	講演(実地)	9時30分	17時00分	60
				活動時間（分）	390
2-2.	会場名	日進市役所 第3会議室		最寄駅	赤池駅
派遣場所	所在地	日進市蟹甲町池下268番地		最寄駅からの交通手段	本市において赤池駅から送迎対応いたします。

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	池田 昌人
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	アドバイザーのこれまでの経験を踏まえ、新たな取組をするにあたって、組織を納得させるための企画・提案力とそのためのテクニックについてワークも交えながら学べたことで、理解をより深めることができました。
アドバイザーへの要望事項	

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果				
4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	21人	
	属性	自治体職員	住民	企業・団体
	人数	21	0	0
4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果				
事業の課題・問題点 （具体的にご記入下さい）	よりよい行政サービスを提供していくために、DXの推進を意識しつつ企画立案した事業を実現しようとするも、事業の可否を判断するにあたり、提案力や企画力の不足により、事業化に至らないこともあることから、事業化に至るまでの企画・提案力の向上が課題となっていた。			
支援により目指す成果 （具体的にご記入下さい）	第6次総合計画に掲げているまちの姿「市民にわかりやすく、多様な行政情報が提供され、インターネットを利用した安全なサービスが提供されている」状態を目標とし、各種手続きや相談がオンライン上のできるなど、市役所に来なくても行政サービスが受けられる体制作りと、デジタルに弱い住民の方への支援を充実し、だれもがDX推進の効果を享受できるようにする。			
アドバイザーに支援を受けた内容 （具体的にご記入下さい）	よりよい行政サービスを提供していくために、DXの推進を意識しつつ企画立案した事業を実現するため、相手に想いを伝え実現するための提案の仕方やポイント、モチベーションを高く仕事をするための「想い」として、技術面以外にも、目標・ビジョンを持つ重要性などについての心がけについて学んだ。			
支援を受け改善又は解決された内容 （具体的にご記入下さい）	行政サービスの推進のための企画・提案力を向上させるヒントが得られたことから、来年度の事業計画における事業推進のための提案に活かしていくことが可能となった。また、事業計画を進めていくための手段や方法のヒントを得ることができた。			
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない 来年度の実施計画や予算編成の過程を注視していく。		
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 （具体的にご記入ください）	研修を受けてすぐに改善するものではなく、継続的に向上を目指していく必要があるため、引き続き研修で学んだことを活かす取り組みをすくとともに、周りへも波及するように進めていく必要がある。			
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。） アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 本市における研修のなかでも、非常に満足度の高い研修となった。背景としては、アドバイザーのこれまでの実践をふまえた講義となっており、その内容に刺激を受けた職員が大変多くいた。 また85%以上の受講者が満足（又は大変満足）と回答しており、その全員がやる気が向上した等の効果を実感している。			
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	③現段階では課題・問題が残っているため未定 住民のニーズも多様化が想定されることから、DX対応できる業務はDXを推進し、人でしか対応できない業務に特化できる体制を構築していく。		
4-4. 事業の最終的な目指す姿	第6次総合計画に掲げているまちの姿「市民にわかりやすく、多様な行政情報が提供され、インターネットを利用した安全なサービス提供されている」状態を目指す。			

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可 掲載可

<https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/>

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

